

平成 30 年度 第 2 回学校評議員会 会議録

1 日 時 平成 31 年 2 月 7 日 (木) 13:30~15:00

2 場 所 本校 校長室

3 出席者

(学校評議員) 畑中 新吉 評議員 (JA 新いわて 代表理事専務)

福島 啓一 評議員 (前 岩手県南広域振興局農林振興センター)

久慈 智春 評議員 (国際ソロプチミスト盛岡)

小野寺 浩 評議員 (本校部活動後援会 監事、八幡平市体育協会 事務局長)

榊原 世士 評議員 (滝沢第二中学校 校長)

井上 勝巳 評議員 (前 本校 P T A 顧問)

岡山 侑 評議員 (川前地区自治会 副会長)

(学校側) 校長：岩淵健一 副校長：牧 一郎、三戸 望 事務長：小保内敏明

4 会議録

進行：岩淵校長

(1) 近況等

・ A 評議員 昨年の本県の農業情勢は、幸い大きな災害もなく、野菜、畜産ともに堅調に推移した。地域の生産額は 480 億円程度になると思われる。

畜産においては、県全体の生産量は横ばいであるが、飼養頭数が 1,000 頭を超える農業法人等は規模を拡大している。半面、家族経営の畜産農家は減少してきている。

盛農の卒業生が進路先としている農業関係の法人等は、堅実に業績を上げている法人なので安心している。

・ B 評議員 昨年、盛岡で開催した全国朝市サミットに関わり、色々とお手伝いをさせてもらった。秋田県の高校や盛岡商業が参加していたので、盛農生にも参加してほしいと思った。

盛農のイベント 3 つに出席した。盛農祭では、食べ物がおいしくてよかった。プロジェクト発表会は発表内容やと発表態度が素晴らしかった。趣味を生かしたものの、水産業など他産業との連携など素晴らしい内容に感心した。

・ C 評議員 先日の国際ソロプチミスト盛岡と寮生との交流会では、たくさんの生徒に参加していただいた。1 年生から 3 年間参加している生徒もおり、その成長にあらためて感動した。また、3 年生が 1 年生に教えていることも、素晴らしいと感じた。

盛農祭では、期待していた味噌を買うことが出来なくて残念だった。茶道部では、男子生徒にお茶のおもてなしを受け、良い環境だなと感じた。プロジェクト発表会はいつも楽しみにしている。

・ D 評議員 最近の新聞報道で、八幡平市で地熱発電所の熱水を活用した農業振興を図るための会社が設立されたとあった。盛農の卒業生も何らかの形で関わってもらえればよいと思った。

スキーマの小林潤志郎選手と小林陵侑選手や、相撲の錦木、母親が八幡平市出身で、このように八幡平市出身やゆかりのあるスポーツ選手が活躍している。体育協会の管理施設に、子供たちの励みになればと思いい資料を掲示している。後継者が育つことを期待している。

- ・ E 評議員 滝沢二中では、最近インフルエンザが流行っている。学級閉鎖までは至っていないが、部活動なしで下校させている。3年生は受験期を迎えており、盛農を希望している生徒もすべて入学してくれればと思っている。
- ・ F 評議員 仕事の都合で、プロジェクト発表会に参加できず残念であった。陸上競技連盟やスケート連盟の役員をやっており、大会運営をしながら盛農生を応援していきたいと考えている。
- ・ G 評議員 今年、自治会で防災訓練を行い、避難所の開設・運営訓練を行った。炊き出し訓練では、豚汁を作り、とてもおいしかった。盛農祭を見て感じたが、盛農生に炊き出しを手伝ってもらえたらいいなと感じた。要介護者の支援は県立大学の学生にお願いした。後日、お願いに伺うかもしれないので、その時はよろしくお願ひしたい。
- ・ 校長 今、来年の年間計画を策定中であるが、創立 140 周年記念事業や新天皇即位による 10 連休があり、授業時数の確保に苦労している。創立 140 周年記念事業は生徒が大変だと思う行事ではなく、楽しめる行事になってほしいと考えている。そこでは、部活動で使用する備品や、弓道場の改修など、同窓生・保護者から応援されていると直に感じられるような記念事業にしようと考えている。

盛農祭で味噌や他の生産物が買えなかったということであるが、多くの方から希望の物が買えなかったという声が聞こえてくる。前売り券を販売するとか、販売方法等を考えているところである。また、展示・発表部門と生産物販売を分けて実施する方法もあるのかなと思うが、いろいろな意見を聞きながら検討していきたい。

炊き出しのお話があったが、防災教育の観点から考えてみたい。滝沢市から、避難所指定について要請もあった。地域の人たちの命を守るのは当然あり、対応していくことになる。災害時に、生徒の安全確保ができた後に、生徒をどう活用していくか、炊き出しやケガ人の支援など、生徒が助ける側へと意識向上が図られるようにしたい。少しずつ範囲を広げながら、地域と盛農が一緒になった防災訓練が進められたらいいと考えている。東日本大震災から相当年数たち、防災に対する生徒の意識の涵養のためにも、炊き出し等は有難い提案だと思う。

(2) 各分掌の取組状況について

- ・ 副校長から 各科の取り組みに係る資料説明
- ・ 校長から 4 頁の体験入学であるが、1 回目の体験入学は夏休み中に行った。ほとんどの高校でこの時期に実施しているが、本人の意思で来るものが半分、親や先生から勧められてくる者が半分とみている。2 回目のもりのう体験塾については、本気で盛農に進みたいと考えている中学生に参加してもらい、通常の授業や実習を体験してもらい、深まりのある内容で実施したものである。
ほかに、ホームページの充実を図った。週 1～2 回ホームページを見ることで、学校の活動状況が全て分かるようにすることを目指している。生徒に配付した文書、生徒が参加した校内外の行事等を掲載している。評議員の皆様にも時間があるときは見ていただければと思う。
- ・ G 評議員 自治会では、盛農、滝沢二中、県立大学と地域が連携した活動ができないか考えている。盛農祭に参加した自治会の人達と話したが、盛農生の力を是非借りたい。炊き出しをお願いできないか。

- ・校 長 来年度の1回目の学校評議員会で、盛農生の炊き出しについての自治会の考えをお聞きできればと思う。
- ・E評議員 盛農のスケート部は強い。よく頑張っているなど思っている。滝沢二中は2年生に1人だけで、後輩が入ってくることを期待している。滝沢二中の生徒の学力もよい方向に向かっている。力をつけさせて高校に送り出したいと思っており、いい意味で大学、高校と連携させてもらえればいいと 考えている。
- ・校 長 盛農に対する滝沢二中の生徒や保護者の意識はどうか。
- ・E評議員 プロジェクト発表会に10人ほどの生徒が参加した。農家の子だけでなく、立地の面もあると思うが、盛農に興味を持っている子は少なからずいる。
- ・D評議員 八幡平市体育協会では、国体に出場する選手に支援金を給付している。八幡平市に縁のある人が活躍することで、中高生の活動の励みになればと思っている。
- ・校 長 盛農ではPTA会費の値上げについて、先日の役員会で了承していただいた。盛農は多岐にわたって活躍できる場がある。そば打ちのように学科の一部の生徒の活動に対しても、支援できる仕組みができた。
- ・F評議員 月額200円の値上げということで、親の負担が増えることは心苦しい面はあったが、子どもらの活動を支援していくのは親の役目と思っている。多様な活動を支援できることはいいことではないかと思っている

(3) 学校評価結果について

- ・副校長から 資料説明
- ・校長から 今年新たに加えた項目「本校に入学させて良かった。」については、校長にとって最も聞いてみたい項目である。あてはまる、保護者については大体あてはまると合わせて9割を超え少し安心している。
- ・A評議員 H29、H30と同じような評価だと感じた。特効薬的なものはないと思うので、地道に改善に取り組んでほしい。
- ・B評議員 授業や進路に関しては評価が高いのでいいのではないかと。気になったのは、保護者の22番「校内の清掃や美化が行き届いている。」の評価は高いが、教職員の18番「清掃が行き届き、いつもきれいだ」との評価はよろしくない。この違いは何か。来客時があるときと、普段の清掃との違いはあると思うが、考えてほしい。
- ・C評議員 入学して良かったかどうかは、1年生では分からないと思う。保護者の評価については、全体的に良いのではないかと感じた。
生徒には、いろいろな大会に参加していただいている。国際ソロプチミストとしても支援をしていきたいと考えている。
- ・D評議員 H29とH30を比較して、あまり変化はないなと感じた。
毎年このアンケートは実施していくのか。
- ・校 長 毎年継続して実施していく。
- ・D評議員 いじめ、セクハラ、パワハラに関する調査はしないのか。
- ・校 長 年2~3回、学校評価のアンケートとは別に、生徒、保護者全員にアンケートを実施している。
- ・D評議員 私の頃は、パワハラ、セクハラは日常的なものだった。少し過敏になってはいないか。先生方も委縮してしまうのではないかと危惧している。
- ・E評議員 進路状況を見ると、農業系以外の大学に進学している生徒もいるようだが、

盛農で学んだことが生かされているのか。

- ・校 長 国公立の大学に進む生徒は、ほとんど推薦である。農業を学ぶことで身に付けたことを、受験に生かしている。

農家出身の生徒は2割、県内農業高校の卒業生のうち農業関係に就職する生徒は5%である。卒業して10年後くらいには、農業に関わる仕事についていてくれることを期待している。今は、その準備期間となっているものと思っている。

- ・ F 評議員 保護者の評価で、わからないと書いている人が多い。入学式と卒業式にしか学校に来ない保護者が多くいる。学校に任せっきりの親が増えてきている気がする。学校に来ることで、見方が変わるので、子供と一緒に親も成長してほしいと思う。

- ・ G 評議員 「積極的に行事に参加し、満足を感じている」では生徒は低評価、「特色ある行事を工夫している」では教員が高評価となっており、このギャップをどう考えているのか。

甲子園での金足農業の活躍があったことで、孫は農業高校に興味を持った。盛岡農業の野球はどうかと聞かれたこともあって、孫を盛農祭に連れてきた。いろいろなものを育てたり、作ったりすることに興味関心を示していた。

小学校や保育園の子どもたちに、農業を体験させる機会があれば、農業高校に対しても興味関心をもつ小・中学生が増えてくるのではないかと感じた。

- ・校 長 現在も、保育園の子どもたちが学校に来て盛農生を講師に農業体験をしたり、保育園に出向いて農業体験をしてもらったりしている。また、多くの小学校や中学校がPTA研修等で来ていただいている。小学生へのアピールについても、検討していきたい。

学校行事の生徒と教員の意識のギャップであるが、教員は工夫しながら行事を進めているので、良い評価となると思う。半面生徒は、言われたからやっただけだという生徒もいると思う。設問の仕方によると思われるので、設問について検討してみる。